

品番: GEN-126

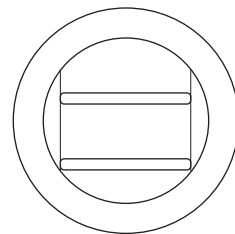
取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後も、この取扱説明書をなくさないように大切に保管してください。

●本製品には適合の可・不可があります。必ず下記の「適合車種」をご確認のうえ取り付けてください。

適合車種		※2026年7月現在
ランドクルーザー 70	型式: GRJ76K / GRJ79K / GDJ76W	
	年式: 2014年(平成26年)8月~2015年(平成27年)6月	
	2023年(令和5年)11月~	

【エアコン吹出口】



- 本製品は右に示した形状のエアコン吹出口に対応したドリンクホルダーです。運転席及び助手席のドア側とインストルメントパネル中央部に対応しています。
- 運転席側のドア側及びインストルメントパネル中央部に取り付ける場合は、テレスコピックを必ず一番手前で固定してください。奥側で固定すると操作レバーに干渉し大変危険ですので、絶対におやめください。なお、手前に設定した場合でもステアリングや各種レバー類との距離が近くなるため、走行中の誤操作には十分ご注意ください。
- 本製品を取り付けたエアコン吹出口は、風向調節ができなくなります。
- 本製品は他のエアコン吹出口用パーツ・アクセサリとの併用はできません。

⚠ 警告 必ずお読みください。

本取扱説明書に記載以外の装着や使用はしないこと。
記載事項を守らなかった場合の不具合については責任を負いません。

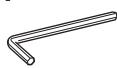
⚠ 注意 必ずお読みください。

- ドリンクを置いた状態で放置したり、600gを超えるドリンクを置いたりしないこと。本製品やエアコン吹出口が破損するおそれがあります。
- 熱で変形、変質する物や、破損するおそれのある物(ガスライター・エアゾール製品)は置かないこと。
- 悪路走行時やドリンク容器の形状・材質によっては安定しない場合があります。安定性を確認のうえ使用すること。特に、くびれた容器は安定しないので注意してください。
- 空になった容器は安定しないため、置かないこと。
- 路面の状況などにより内容物がこぼれる場合があるので、走行時はキャップやふたをすること。
- ドリンク容器の形状・材質により出し入れしづらい場合は、停車時にホルダー本体を押さえながら出し入れしてください。
- 長期間使用しているとホルダーがガタついてくる場合があります。その場合はビスを締め直してください。

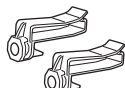
1 構成部品



ビス
(2個)



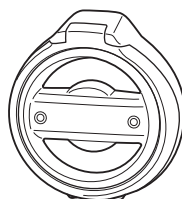
六角レンチ
(1個)



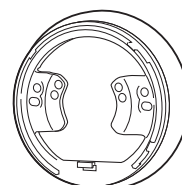
クリップ
(2個)



回転止め
テープ(2枚)



ホルダー
(1個)



ベースクッション
(1個)

2 取付方法

- (1) エアコンの風向フィンを開け、風向フィンを水平にします。
風向フィンは上から押しても閉じない向きにセットしてください。(図1)
- (2) エアコン吹出口が回転しないように回転止めテープを貼ります。(図2)
- (3) 付属のビスでクリップをベースクッションに仮止めします。(図3)

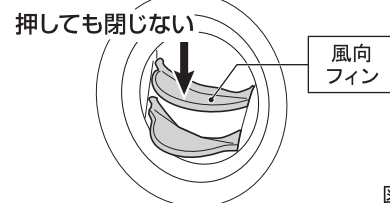


図1

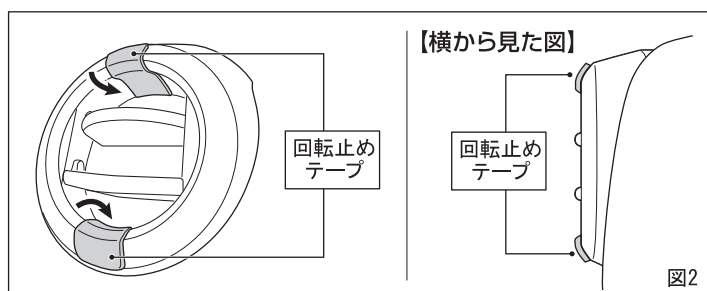


図2

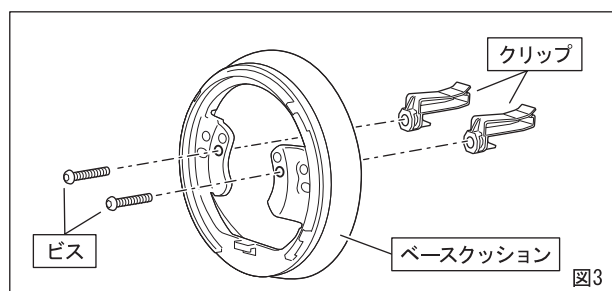
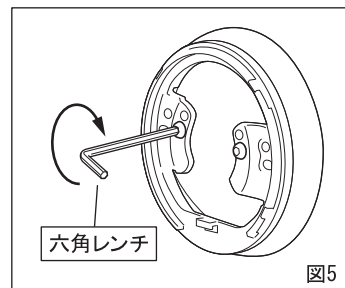
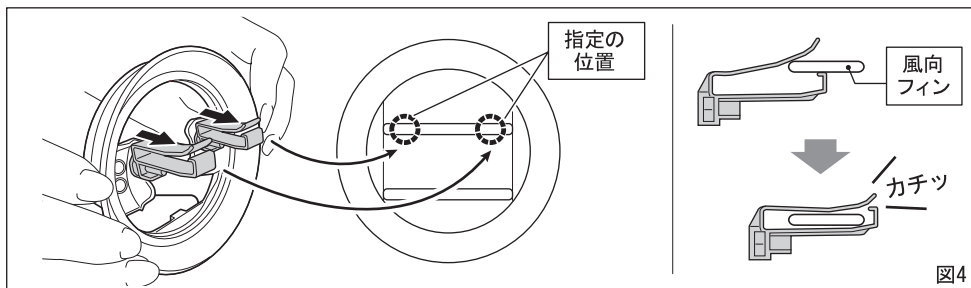


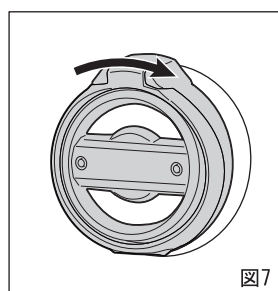
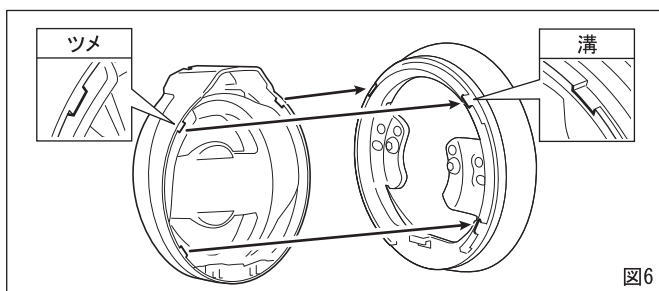
図3

》》 取付方法 (つづき)

- (4) ビスの頭部分をおさえながらクリップを押し出し、エアコン吹出口の指定の位置の一番奥まで差し込んでしっかりと引っかけます。(図4)
※「カチッ」と音が出るまで差し込んでください。
- (5) 六角レンチ(付属)の長い側をビスに差し込み、交互に締めて、ベースクッションを固定します。(図5)



- (6) ホルダーのツメをベースクッションの溝に合わせます。(図6)
- (7) ホルダーを時計回りに回してロックします。(図7)



⚠ 注意

- ホルダーがロックされしっかりと取り付けたことを確認してください。ロックせずにドリンク容器を置くと製品破損やドリンクがこぼれる原因となります。

3 使用方法

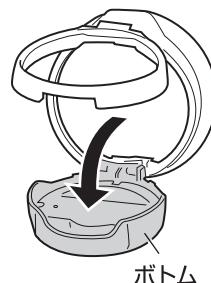
- 容器の直径が72mm以下、かつ、重量600g以下のドリンクをホールドできます。

- ①製品が上下に動かないように固定部を押さえながらリングを上げてください。

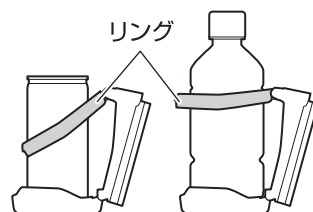
※製品が多少上下に動く場合がありますが、使用上問題ありません。



- ②ボトムを開く



- ③容器の太さに合わせてリングの角度を調整する



4 取外方法

- (1) 取付方法と逆の手順でホルダーを取り外し、付属の六角レンチでビスを緩めます。
- (2) 風向フィンが動かないように押さえながら、ベースクッションを持ち上げ取り外します。(図8)

